



南中だより

平成26年 5月15日
東久留米市立 南中学校
校長 川上 智

「知・徳・体」

文部科学省は、学校での指導内容の「もと」となる学習指導要領を、子供たちの「生きる力」をはぐくむという理念のもとに定めています。日本全国のどこの学校でも、この学習指導要領に基づいて教育活動が行われています。

「生きる力」とは、知・徳・体のバランスのとれた力のことを指します。変化の激しいこれからの社会を生きるためには、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力の「知・徳・体」をバランスよく育てることが大切です。

南中でも「生きる力」の育成という理念のもとに学校経営方針を定めています。HPに掲載していますので、ここでは関係する重要な3つの視点をご紹介します。

1 「知」…子供たちの学力向上を図るための、授業研究の推進

子供たちの学力を向上させるためには、教師の指導力向上は欠かせません。本校では今年度、全教科で研究授業を実施し、指導の内容や方法の工夫改善に努めていきます。

2 「徳」…心の教育の充実 しっかりとした挨拶、返事の励行

人間関係を構築するコミュニケーションの基本は、挨拶と返事です。「おはよう」「ありがとう」など教職員が率先して声をかけるとともに、生徒会を中心に挨拶運動等の機会の充実を進めていきます。

3 「体」…体力向上を図るための、運動の日常化の推進

体育の授業を中心に積極的に運動しようとする意識と態度の育成に努めるとともに、体育的行事において子供たち一人一人が個人目標を設定して、目標達成に向けた自主練習の励行に努めていきます。

このことは平成26年度の学校経営方針に重点課題として位置付け、既に取り組が始まっています。保護者会でもお話しをさせていただきましたが、改めて保護者・地域の皆様にご理解とご協力をお願いし

たいことが3点ございます。

はじめに土曜日授業の実施です。

9教科と道徳で年間10回の研究授業を実施します。研究授業にはすべての教員が参加しますので、授業以外の学級は下校となります。そこで授業時数確保等の観点から、振替休業日を設けない土曜日授業（学校公開日としています。）が年間6回あります。また、本校では夏休みの最後の2日間を登校日とし授業を進めていきます。

次に挨拶や返事についてです。

子供たちにはしっかりと挨拶や返事を、いつでもどこでも実践して欲しいと思っています。ご家庭でも地域の中でも、子供たちから、また大人から互いに気持ちよく挨拶、返事ができるとよいと思っています。

最後に体力向上についてです。

これまでの社会全体の雰囲気には、学力向上に比して体力向上は軽視されがちな傾向になかったかという指摘があります。同感です。運動することを通して考え、知恵を働かせることによって、子供たちは勉強以外の場においても思考・判断することになります。アリストテレスはペリパトス（歩廊）を歩きながら議論したそうです。京都にある哲学の道、哲学者、西田幾多郎はこの道を散策しながら思索にふけったと言われています。子供たちには日常的に運動に親しんで欲しいと思っています。

5月31日（土）は運動会です。

中間考査が終わると、学校は運動会に向けて一気に準備が進んでいきます。子供たちがとても楽しみにしている行事の一つです。学年別の学級対抗ですから、個人種目はもとより、全員リレーや学年種目の取組、仲間への応援、係活動などを通して学級の絆もより一層深まっています。是非、子供たちの応援にいらして下さい。

